

# 令和8年度（2026年度）江津湖地域における

## 希少生物生息・生育状況調査業務委託仕様書

### 1 目的

江津湖地域にはササゴイやヒメバイカモなどの希少な生物が生息・生育している。しかし、これらの希少な生物が外来生物の侵入や江津湖の水質悪化による影響を受けているおそれがある。

本調査では、江津湖地域に生息する哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・昆虫類・底生動物及び生育する植物のうち、熊本県が発行している「レッドリストくまもと 2024-熊本県の絶滅のおそれのある野生動植物-」に記載されている種（以下、希少種とする）を対象とした夏季の現地調査の結果を踏まえ、受託者から希少種の保全対策及びモニタリング実施計画の提案がなされることで、本市における希少種の保全に資することを目的とする。

### 2 履行場所

江津湖地域

### 3 履行期間

契約日から令和9年（2027年）2月28日まで

### 4 調査手順

#### (1) 計画準備

業務着手に先立ち、調査内容や趣旨を把握し、具体的な実施方針及び業務計画を立案する。

#### (2) 現地調査計画の策定

出水地区、上江津地区、下江津地区及び広木地区の希少種の分布状況等の把握に十分な成果が得られるよう、委託者と協議の上、現地調査計画を策定する。

#### (3) 現地調査

##### (ア) 調査項目・調査時期

出水地区、上江津地区、下江津地区及び広木地区の希少種の分布状況（定性調査のみ）の調査を、令和8年（2026年）7月下旬～8月中旬の期間に1回行うものとする。

##### (イ) 実施区域

各地区の調査区域については、別紙1のとおり。

調査は陸上から行うことを原則とする。ただし、底生動物調査及び水生植物調査は、実施区域内における江津湖への流入河川と湖岸から約1m以内の江津湖水域を対象区域とする。詳細については、初回打ち合わせの際に委託者と協議を行

うものとする。

## 5 報告書作成

現地調査で得られた調査結果を整理する。現地調査において希少種以外の種で確認された種についても整理すること。

確認された種は原則同定を行うものとするが、希少種以外の種について、その同定が困難な場合は委託者と協議の上、科又は属による分類とすることができる。

## 6 考察・評価

調査結果における考察・評価に加え、希少種の保全対策及び希少種のモニタリング実施計画についてとりまとめる。

## 7 打合せ

打合せの回数は初回打合せ及び最終回の成果納品時の2回とし、打合せには管理技術者が立ち会うものとする。

## 8 成果品

報告書 5部（確認された希少種の位置情報を含む）

電子媒体 1式（CD又はDVD 1枚）

- ・作業状況写真等の電子データの著作権は委託者に帰属するものとする。
- ・確認された希少種の位置情報を含まない報告書のデータも併せて作成し、電子媒体にて納品すること。

## 9 その他

- (1) 業務の実施にあたっては、諸法規を遵守し公衆の迷惑とならないようにするとともに、安全に留意し必要であれば事前に十分な安全措置を取ること。
- (2) 本仕様に記載のない詳細事項については、委託者と協議の上履行するものとする。